

第91期

中間事業報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日



フクビ化学工業株式会社

証券コード：7871

営業の概況



代表取締役会長CEO

代表取締役社長COO

八木 誠一郎

森 克則

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2025年3月期中間期の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

業績全般の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用改善と名目賃金増加で個人消費が下げ止まり、設備投資意欲も底堅く推移したことに加えて、インバウンド需要も拡大したことから、緩やかに持ち直しています。今後も景気の回復傾向が続くことが見込まれる一方で、インフレによる消費者マインドの低下、人手不足による供給制約など、景気の不振下振れリスクの懸念があります。

住宅業界においては、持ち家、分譲住宅の減少が続いており、2024年4月～9月の新設住宅着工戸数は、戸数412千戸（前年同期比0.8%減）、床面積31,610千㎡（同3.5%減）となりました。非住宅建築分野においても職人不足による停滞状態が続いており、2024年4月～9月の民間非居住建物着工数は、棟数29千棟（同4.6%減）、床面積17,972千㎡（同9.6%減）となりました。

このような環境の下、当社グループでは、2023年度からスタートした第7次中期経営計画「技術を押し出し、未来へワクワク（2023年度～2027年度）」に基づき、下記の3つの基本方針に則り具体的な施策を実施しました。

●循環型ビジネス拡大

『バスパネルBTJ』、『プラスッド ルーバーJF3050』、『フリースフロアーE-CP』についてSuMPO EPD（旧名称エコリーフ）を取得しました。これにより、製品ライフサイクルでの環境負荷を客観的に評価することが可能となり、GHG排出量表示の動き等への対応も容易となります。

当社とNAGASEグループの長瀬産業株式会社、株式会社キャプテックスは、リサイクル樹脂、リユース電池を使用した環境配慮型のスマートベンチを共同開発し、実証実験を開始しま

した。多様な企業とのイノベーションを通じて、新たな循環型ビジネスを一層加速してまいります。

●強靱な収益基盤構築

住宅建材では一部で落ち込みが見られたものの、断熱関連が好調に推移した他、自動車関連など住宅以外の分野においては、これまで取り組んで来た高付加価値化や技術の提案、PRなど市場へのスペックイン活動が奏功し、全体として売上は前年同期水準を確保いたしました。これらの分野は、今後も拡大を見込んでおり、引き続き取り組みを強化してまいります。

原価低減では、新基幹システムの稼働に伴い、棚卸資産に関してより精度の高い情報が得られるようになったことから、評価の見積り方法を変更しています。これに伴い、一過性と捉えることができる費用が発生することとなりましたが、将来への成長に向けて財務基盤の更なる強化を図るものであり、今後も情報の精度を高めながら適正な在庫水準を維持してまいります。生産効率の改善では、作業工程の見直しを継続して実施しており、押出成形の標準化モデルラインが稼働するなど一定の成果が得られました。

●成長を後押しする組織づくり

第7次中期経営計画において、コーポレートガバナンス体制の強化を重要な経営課題と位置付けております。今期より社長交代およびCxO体制の導入を通じて新たな経営体制をスタートさせました。これにより、迅速かつ的確な意思決定を実現するため決裁権限の委譲や、社内規程の整備などを実施いたしました。

従業員一人ひとりの成長とエンゲージメントの向上を通じて、組織全体の活性化と競争力強化に取り組んでおります。その一環として、従業員が株主の皆さまとの一層の価値共有を進めるとともに中期経営計画の達成へ向けたインセンティブに寄与することを目的として、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度を導入いたしました。全従業員が長期的な企業価値の創造に向けて一体となって取り組む体制を整えてまいります。

また、将来のタレントマネジメントを見据えて人材情報のデータベース化を進めるとともに、従業員の適性やパフォーマンスに応じた配置を進めました。

以上により、当中間連結会計期間の売上高は196億12百万円と、前年同期に比べ0.2%の増収となりました。利益面につきましては、棚卸資産評価に係る見積りの変更により、棚卸資産評価減を1億47百万円計上し売上原価が増加した影響で、営業利益6億35百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益7億円（同29.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益4億72百万円（同30.9%減）となりました。

セグメント別の売上状況は、以下のとおりであります。

【建材事業】

住宅分野では、新築、リフォーム問わず求められる高断熱化に対応した高性能断熱材『フェノバード』や加工拠点を拡大した高断熱内窓『メルツエン』が堅調に推移しました。一方で、持ち家・分譲戸建の大幅着工減という市場環境から、汎用品は売上が減少しました。

非住宅分野ではプロモーションを強化した結果、工場・倉庫向け商品群『PLANTOOL』が好調な伸びを示しました。

【CSE事業】

CSE事業においても新設住宅着工の低迷により建築資材系OEM品が伸び悩みました。一方で、住設資材系OEM品の採用数が増加したこと、また、バスやトラックといった大型車輛向け部材や、業務用冷蔵庫向け部材、事務機器部材といった産業資材が好調に受注を確保し、売上増に寄与しました。

【精密事業】

精密事業では、主力の車載向け部材が自動車の減産や中国市場の販売不振を受け、低調に推移しました。非車載向け部材はこれまでのエンジニアリングセールスが結実し、売上を大きく伸ばしました。

【グローバル事業】

グローバル事業では、米国現法のブランド製品が伸び悩み、また、日本向け建材ビジネスの比率が高いベトナム・タイの各現法も、日本市場の需要低迷を受け低調に終わったことなどが影響し、総じて弱含みで推移しました。このような中、ASEAN地域での建材販路拡大に向け、販売チャネル構築に向けた活動を推進しました。

資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億94百万円(前期末比2.8%)減少し、525億81百万円となりました。主な増減要因としては、流動資産では、現金及び預金が20億22百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が16億3百万円減少、また電子記録債権が8億78百万円減少したことなどにより、8億79百万円(同2.5%)の減少となりました。固定資産では、投資有価証券が6億5百万円減少したことや有形固定資産が64百万円減少したことにより、6億15百万円

(同3.3%)の減少となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ16億54百万円(前期末比9.8%)減少し、152億61百万円となりました。主な増減要因としては、流動負債では、支払手形及び買掛金が10億24百万円減少したことや、賞与引当金が1億14百万円減少したことなどにより、15億17百万円(同10.7%)の減少となりました。固定負債では、繰延税金負債が86百万円減少、またリース債務が50百万円減少するなど、1億37百万円(同5.1%)の減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億59百万円(前期末比0.4%)増加し、373億21百万円となりました。その他有価証券評価差額金が2億2百万円減少した一方で、利益剰余金が1億57百万円増加、また為替換算調整勘定が1億53百万円増加したことなどによるものです。この結果、株主資本合計は330億13百万円、自己資本は364億27百万円となり、自己資本比率は69.3%となりました。

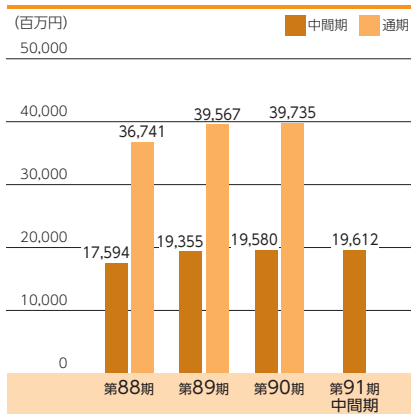
今後の経営環境につきましては、材料費や物流費の高止まりに加え、人的資本投資に伴う人件費増を見込みます。一方で、当社グループ独自の技術を活かした製品開発や継続的な原価低減および付加価値に見合うプライシングの検討など収益性を高める施策を確実に推進し、強靱な収益基盤の構築に努めてまいります。このような前提のもと、当中間連結会計期間の業績は概ね2024年5月14日公表時点での想定に沿う結果であったことを踏まえ、現時点において前回5月公表の通期連結業績予想を据え置いております。

なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後の経営環境を踏まえ、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

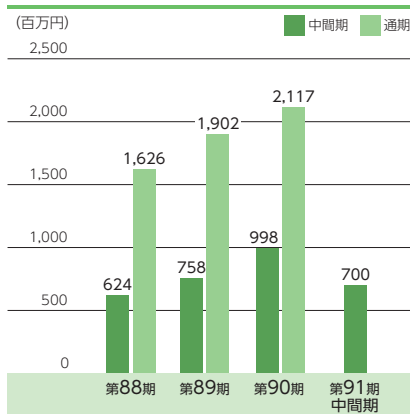
株主の皆さまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

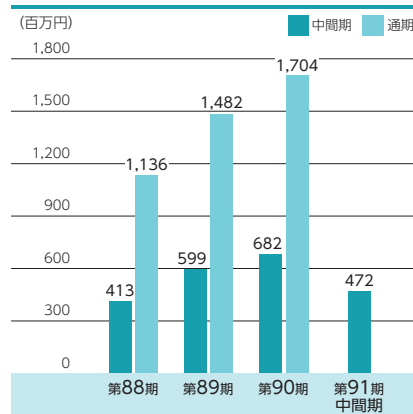
●連結売上高



●連結経常利益



●親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



2024年5月～10月の主なTOPICS

新商品

浴室簡易内窓『フクマド』を発売しました

2024年8月6日



フクマド 施工前（外部のみ）



フクマド 施工後

浴室のリフォームを提案する中で、「簡易的に窓の冷気対策がしたい」という、温熱環境に対して改善を求めるお客さまのご要望に応えるべく、クレセント（錠金具）がなくても隙間ができにくい構造で断熱性を高め、施工も簡単な簡易内窓を発売いたしました。

水や汚れがたまって掃除しやすいシンブルな形状で、すっきりしたデザインも好評をいただいています。

人的資本経営

「従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度」を導入しました

2024年8月9日

従業員持株会に加入する当社の従業員のうち対象従業員に対し、福利厚生の増進策として、当社が発行又は処分する当社普通株式を譲渡制限付株式として取得させる機会を創出します。

対象従業員が株主の皆さまとの一層の価値共有を進めるだけでなく、当社の企業価値向上を図り、対象従業員の財産形成の一助とし、当社の中期経営計画の達成に向けたインセンティブに寄与することも目的として、本制度を導入いたしました。

産学連携

福井県の学生を対象とした「デザイン創出コンペ」を開催しています

2024年9月1日～2025年1月31日



当社の再生木『プラスッド』の原料である、福井県産間伐材を有効活用した環境配慮型素材「フクウッド」を活用した文教施設やその周辺に関わる建築資材についての創意的なデザインを募集しています。

対象は福井県内の学校に在籍する学生（大学生・大学院生・高等専門学校生）とし、優秀なデザインには賞を贈る予定です。

学生の創造性と環境意識を活かし、持続性社会を追求するデザイン思考とイノベーション精神で持続可能な未来の暮らしを目指します。

2024年7月12日～7月14日・9月6日～9月7日

IR

「資産運用EXPO【夏】」・「名証IRエキスポ2024」に出展しました



「資産運用EXPO【夏】」、「名証IRエキスポ2024」に出展しました。

当社ブースでは1日5回の会社説明会を開催し、いずれの回も満席となるなど、多くの個人投資家の皆さまにご来場いただきました。

また、「名証IRエキスポ2024」では、証券営業担当者さま向けの企業説明会にも参加し、当社の取り組みをPRさせていただきました。

今後も引き続きステークホルダーの皆さまとの対話を深め、更なるIR活動の拡充に努めてまいります。

2024年9月9日

R&D

早稲田大学の佐野友紀研究室と共同研究を開始しました

当社の屋外家具ブランド『Fandaline(ファンダライン)』の開発・販売を行っている当社まちづくり事業推進室は、早稲田大学人間科学部の佐野友紀研究室と、居心地の良いベンチについての共同研究を開始しました。

ベンチのレイアウトと利用者の着席位置や行動変化について、当社のこれまでの知見に新たな視点を加えることで、ベンチの開発を通して、より居心地の良い空間づくりに貢献していきます。



2024年10月9日

サステナビリティ

福井県で開催された全国育樹祭の場に、当社の再生木ベンチを寄贈しました



2024年10月19日～20日に、秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えして、第47回全国育樹祭in福井が開催されました。

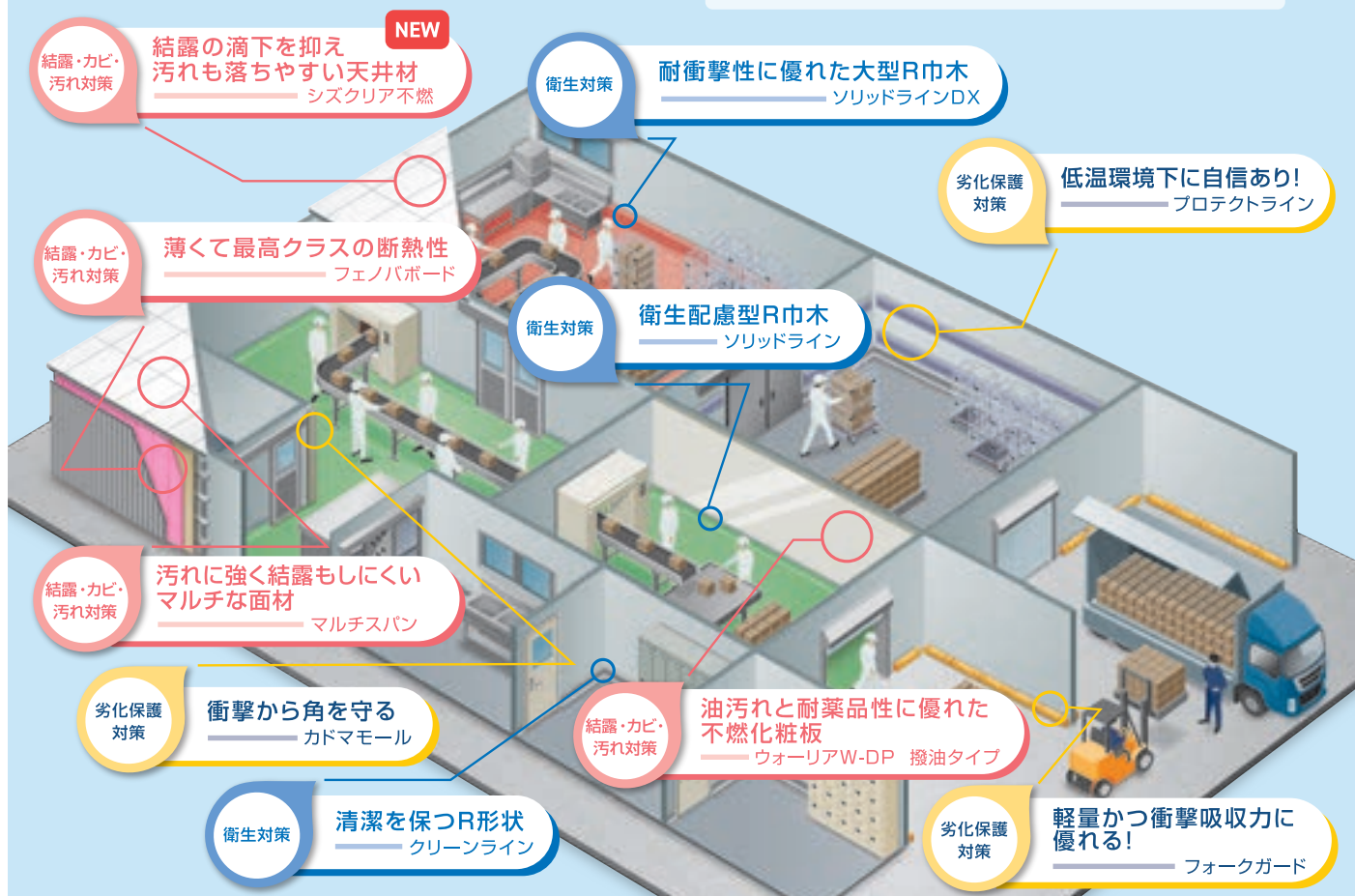
当社はこれに先立ち、10月9日に、会場での休憩などに活用してもらうべく、当社の再生木で作られた『Fandaline(ファンダライン)』のベンチを8点、福井県に寄贈いたしました。

メイン会場となったサンドームの周辺に配置され、当日は多くの方にご利用いただきました。

工場での衛生に関する課題を解決

プランツール
PLANTOOL

工場の衛生と安全を向上させることを目指し、衛生管理担当者の意見を取り入れた、課題解決に特化したサブブランドです。【衛生配慮】【劣化保護対策】【結露対策】の3つの課題をテーマに製品をラインナップしています。



衛生対策

HACCP※1・GMP省令※2にも準拠した衛生対策!

異物混入対策
ソリッドライン



工期短縮・耐衝撃性
ソリッドラインDX



異物対策・清掃性向上
クリーンライン
100-30R



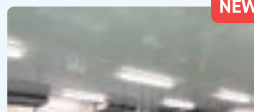
結露・カビ・汚れ対策

温熱環境を改善し、結露・カビを抑制!

天井のカビ・結露対策に
不燃マルチスパン
(目地なしタイプ)



親水コーティングに
よって結露垂れを軽減
シズクリア不燃



NEW

高い断熱性能と
安心の防火性能
フェノバードS造
防耐火認定対応



撥油効果で壁面汚れの
清掃性向上
ウォーリア
W-DP
撥油タイプ



劣化保護対策

製造中の衝撃から工場を守る!

樹脂製台車ガード
プロテクトライン15



出隅部分の保護
カドマモール



倉庫内のフォークリフト対策に
樹脂製フォークガード



※1 HACCP:食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握したうえで、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。

※2 GMP省令(Good Manufacturing Practice省令):医薬品や医薬部外品の製造管理および品質管理の基準を定めた規則です。この省令は、製品の品質と安全性を確保するために、製造工程全体を管理する具体的な手順や規則を規定しています。

株主さま工場見学会のお知らせ

当社では、株主の皆さまにより一層当社へのご理解を深めていただくため、工場見学会を下記の内容で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

株主さま工場見学会のお知らせ

日	時	2025年3月19日(水) 13:30~17:30
場	所	フクビ化学工業株式会社 本社(福井市三十八社町33-66) 本社工場 および ショールーム
見学会内容		本社工場、ショールームの見学、質疑応答など。 ※ご見学時は、1時間程度(予定)の徒歩移動、バスの乗り降りや階段の昇り降りがございますので、ご了承ください。
募集人数		40名さま(ご同伴者さま含む) 2024年9月30日現在、当社株式100株以上ご所有の株主さま。 株主さま以外に、1名さまのご同伴が可能です。なお、安全上の配慮から、ご同伴者さまは中学生以上とさせていただきます、また当日申し込みはお受けできません。
参加費用		無料 ※集合・解散場所(JR福井駅東口を予定)までの往復交通費・宿泊費等は、株主さまのご負担となりますので、お申し込みいただく場合には、ご了承ください。 ※集合・解散場所と当社の往復は当社手配のバスでご移動いただけます。
その他		※駐車場のご用意はございませんので、恐れ入りますが、当社へのお車での直接のご来場はご遠慮願います。 ※株主さまご本人からのご応募でない場合、ご応募は無効とさせていただきます。



前回開催の様子



お申し込み方法

見学を希望される株主さまは、同封の「株主さま工場見学会 応募はがき」に必要事項をご記入いただき、2025年1月10日(金)必着にてご応募ください。

- ※個人情報保護のため、同封の保護シールを個人情報記載欄の上に貼付のうえ、ご投函ください。
- ※お申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。
厳正な抽選のうえ、お申し込みされた皆さまへ抽選結果を発送(2025年1月下旬発送予定)させていただきます。その際、当選された方には当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

記入例

料金受取人私郵便

福井南局
承認
0000

差出有効期間
◆◆◆◆年◆月
◆日まで
(切手は不要)

郵便はがき
9 1 8-8 7 9 0

福井市三十八社町33-66
フクビ化学工業株式会社
広報・IR推進室行

●裏面に必要事項をご記入のうえ、2025年1月10日(金)必着にてご返送くださいよう願ひ申し上げます。

●個人情報保護のため、同封の保護シールを個人情報記載欄の上に貼付のうえ、ご投函ください。

●ご応募により当社が取得する株主さまの個人情報につきましては、本見学会を実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。

FUKUVI

株主さま工場見学会 応募はがき

見学を希望される株主さまは、下記に必要事項をご記入のうえ、
2025年1月10日(金)必着にてご返送ください。

株主番号 (9桁)	同封の「配当金計算書」右上に記載の9桁の数字								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
株主さま									
ふりがな	ふくび たろう								
お名前	福美 太郎								
	〒918-8585 福井 府 県 福井市								
ご住所	三十八社町33-66								
性別	(男)・女		年齢		50 歳				
電話番号	0000-00-0000				※当日連絡のとれる電話番号をご記入ください。				

ご同伴者さま (1名さままで)

ふりがな ふくび はなこ

お名前 福美 花子

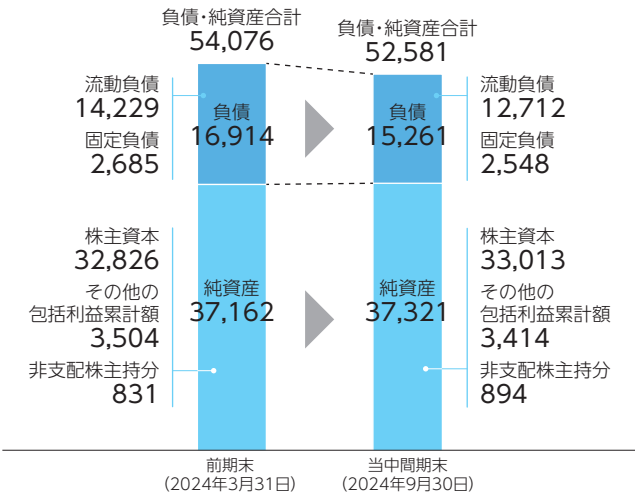
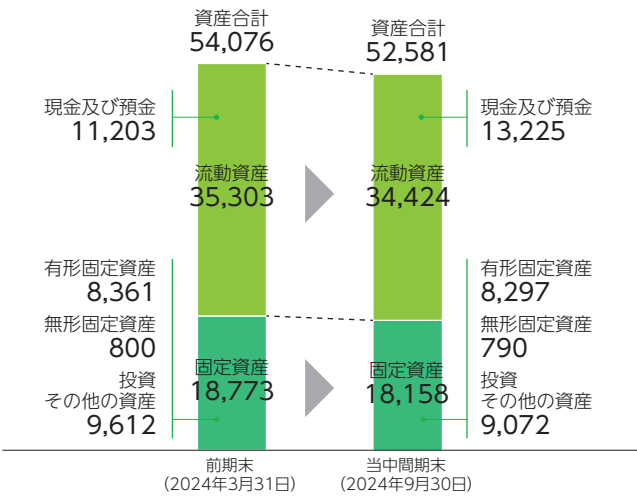
性別 男・女 年齢 50 歳

ご送付先およびお問合せ先

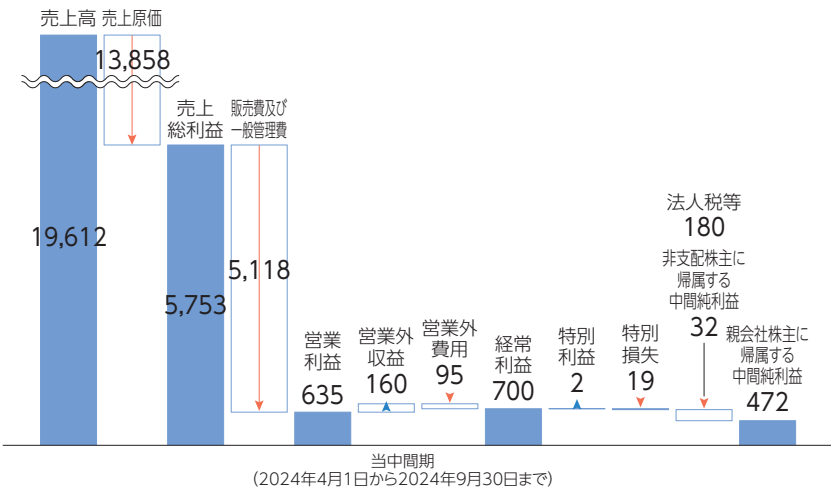
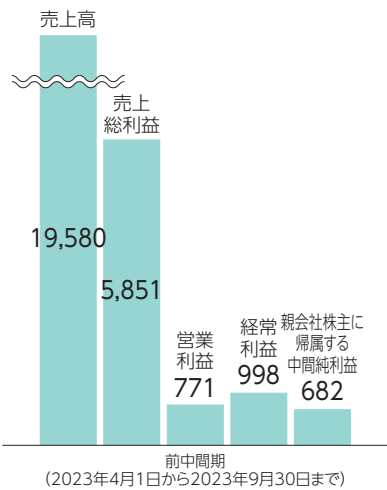
福井市三十八社町33-66 フクビ化学工業株式会社 広報・IR推進室
TEL：0776-38-8415 8:30～17:00(土日・祝日、当社休日を除く)

連結財務諸表の概要

資産の状況 (百万円)



損益の状況 (百万円)



会社の概要

会社の概要

(2024年9月30日現在)

創 立 1953年5月25日

資 本 金 21億9,390万円

U R L <https://www.fukuvi.co.jp/>

各事業セグメントの概要

建 材 事 業 外装建材、内装建材、床関連材、システム建材等の開発・製造・販売および建設工事設計施工

C S E 事 業 住宅設備、車輛分野を主としたユーザーからの受注によるOEM製品・ODM製品等の開発・製造・販売

精 密 事 業 反射防止付樹脂シートを主とする機能性コーティング製品の開発・製造・販売

グ ロー バ ル 事 業 海外市場向けの外装建材、内装建材等の開発・製造・販売

(注)CSEとは、Customer Satisfaction & Expectationの頭文字をとった造語。

取締役・監査役・顧問

(2024年9月30日現在)

代表取締役会長 CEO 八 木 誠一郎

代表取締役社長 COO 森 克 則

取締役 岩 淵 滋

取締役 諫 山 滋

取締役 南 保 勝 仁愛大学 人間学部
コミュニケーション学科
特任教授

取締役 采 野 進

取締役執行役員
生産イノベーション本部長
CTO 小 林 俊 幸

常勤監査役 大 畑 忠

監査役 玉 井 三千雄 玉井公認会計士事務所長

監査役 藪 原 孝 夫 藪原孝夫税理士事務所長

顧問 鎌 田 昌 利 長瀬産業株式会社
取締役 兼 常務執行役員

おしだ 技術を押出し、未来へ ワクワク

企業理念

- ・化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する。
- ・企業経営を通じて、地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する。



中長期ビジョン

- ・新たな技術開発と市場創造に絶え間なく挑戦し、快適な社会の実現に貢献する。
- ・一人一人の成長と企業の成長が一体となることで、喜びを実感できるフクビグループを目指す。

株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期 末 配 当 3月31日
中 間 配 当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
公告方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<https://www.fukuvi.co.jp/>
上場証券取引所 東京スタンダード市場・名古屋メイン市場

単元株式数 100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店にてお取扱いいたします。

独自の技術で未来をひらく



この事業報告書は、
環境に配慮し、植物油インキ
を使用しております。

